

# ぱすてる

第16号 2015.1

蓮田っていいな!

育てようステキな街

ご意見をお寄せください



「ぱすてる」では、今後載せてもらいたい内容、今回の内容に対するご意見・ご感想、男女共同参画全般に関するご意見などをお待ちしています。また、編集委員も募集しています。興味・関心をお持ちの方、ぜひ参加してください。

## 蓮田市男女共生情報誌

編集委員／菅野由紀子、酒井めぐみ、河北佳子、新井香織、小森豊政  
発行／蓮田市役所総務部庶務課 〒349-0193 蓮田市大字黒浜2799-1  
☎048-768-3111 内線296



## 石井 文枝さん

江ヶ崎在住

家族構成 ● 夫、夫の両親、中2男子、  
小6女児の6人



# インタビュー 蓮田市 ボランティアのパイオニア

子育てのしやすい街、女性が活躍でき男性が参加しやすい環境づくりをめざして活躍されている石井さんに、インタビューを行いました。

## Q1 蓮田市に住んだきっかけは？ また、蓮田市の印象は？

蓮田に住む主人の両親と同居という形で、長男を出産後、子育てをするために東京から引っ越してきました。

私の住んでいる周りは、結構のどかなところだと思いました。

## Q2 子育てのための情報は どこから？

愛育班の方が、訪問に来てくれて、班のイベントなどに参加しました。近所に同じくらいの年代の子どもがいることを知り、とても嬉しかったです。黒浜の支援センターを利用し「めだかっこクラブ」など積極的に参加して、そこでいろいろな情報を入手できました。

児童センターで愛育班のママさんたちと子育てについて相談などしているうちに、連絡員→班長→会長も経験しました。蓮田市のママさんは積極的に運営に参加しています。

## Q3 現在活動中の「子育て ネットワーク」など その原動力はどこから？

黒浜の支援センターで子育てネットワークがやっていた「おしゃべりサロン」に参加したのがきっかけです。初めは、愛育班といろいろなサークル、子育てネットワークなどで活動していました。外に出て、いろいろな人と知り合い、子育て情報を知りたいという好奇心からだと思います。主人の両親も私が外へ出て活動することに大変理解があり、協力してくれます。

## Q4 ボランティア以外の 活動は？

下の娘が2歳になった時にバレエを始めたので、その時に私も昔やっていたバレエをまた始めてみました。去年からは長男の影響でバレーボールも始めました。

## Q5 蓮田市に住んで約14年、 これまでの活動と生活を 振り返ってみてどうですか？

「蓮田には何も無い。」と耳にしますが、蓮田を盛り上げよう、住み良くしようという人がたくさんいます。そんな人と知り合えて良かったと思います。

ママさんたちから喜んでもらっている話を聞くと、仲間たちと活動を続けてきてよかったと思います。

自分がやりたいことにチャレンジしている姿を子どもにも見てもらい、人の役に立つことが、自分の喜びになることを感じてもらいたいです。

ボランティアは、自分にできることを一歩踏み出すことで、自分自身の大きな財産になると思います。

「今回の取材を通して、石井さんが多くの方に信頼され、頼られている理由がよく分かりました。」(菅野)

# インタビュー ファミサポ両方会員 の経験から

ファミリー・サポート・センターの元両方会員で、アドバイザーの経験を持つ小池さんに、お話をうかがいました。

## Q1 | ファミリー・サポート・センターを知ったきっかけはなんですか？

蓮田市の広報です。子どもを産む前に知り、はじめは協力会員に興味を持ちました。

## Q2 | 利用頻度はどのくらいでしたか？

依頼したのは月に1、2回です。子ども2人一緒の時もあるし、どちらか1人を預かって頂いた時もあります。協力会員として預かったのは、週3～5日でした。

## Q3 | 協力会員になって感じたことはなんですか？

長男が1歳の時に協力会員になりました。他のお子さんを預かることで、じっくり自分の子どもと向き合う時間ができましたし、客観的に観察することもできました。

いいことも、不安だったことも「他のお子さんもそうなんだ」と気が楽になったこともあります。自分の子どもと1対1だったら悶々としていたかもしれませんね。子育ての勉強にもなりました。

預かったお子さんのお母さんが仕事をしながら生き生き働いている姿を見て、そのうち私もまた仕事がしたいな、と思うようになりました。

## Q4 | 依頼会員になって感じたことはなんですか？

気軽に利用できました。子どもは預けたお宅のお子さんとも仲良くなれましたし、いろいろな遊びも経験できたようです。お迎え、お預かりなど、細かなニーズに対応していただきました。預けたいとき、自分の親だけに頼ってばかりだと悪いなと思うときもあります。

その点、協力会員さんには依頼後、

すぐ報酬をお支払いするシステムなので、気軽に利用できたと思います。

## Q5 | 不安はなかったですか？

アドバイザーの方に何でも相談できたので、不安はなかったです。親同士のトラブルありませんでした。保険もあるのでしもの時も安心ですね。

## Q6 | 他に、子育てに関してどんな支援を利用していましたか？

愛育班、保育園の一時保育などを利用しました。

## Q7 | 何かご意見があればお願いします。

もっとたくさんの方にファミリー・サポート・センターを知って、利用してもらいたいです。子育て中でも自分の出来る範囲で参加することで地域社会とつながっていられました。

そのおかげで、周りのたくさんの方々力を借りて、子どもが大きく成長したことを感謝しています。



## 小池 智子 さん

東二丁目在住

子どもが大好き。  
現在は週5日のアルバイト。



# 若い世代へ 突撃インタビュー



半藤 温子さん  
閩戸在住

Q1

蓮田にお住まいになって  
どれくらいですか？

平成24年1月に群馬県の太田市から来ました。結婚して主人の両親の家の隣に住んでいます。

Q2

蓮田市の印象は  
どうですか？

県外の人には、あまり知られていないので、どこにあるか説明しづらいです。でも梨がおいしいのでうれしいです。

Q3

閩戸保育園を  
利用している理由は？

近所に小さい子どもがいる家が少なく、公園もあまりないので、このような施設はうれしいです。ここは庭もあって、子どもを思い切り遊ばせられます。同年代のお母さんが集まるので、知り合いを増やせるし、サポートしてくれる方も多くて安心。ここが好きです。

Q4

ご主人のご両親と  
お隣同士という関係は？

両親は、現在は二人ともフルタイムで働いているので、平日の日中は、あまり顔は、合わせません。それでも、わからないことを気軽に聞いて、教えてもらえる。とても良い関係だと思っています。

Q5

これからも、蓮田で  
子育てをしたいですか？

もう一人ぐらい子どもを産んで、その子が幼稚園位になったら、また働けたらいいと思います。私もそうだったのですが、子どもが大きくなっても、帰ってきたときには、誰か頼れる人が近くにいて欲しい。近くにサポートしてくれる人がたくさんいる、そんな蓮田にずっと住みたいと思います。

## 閩戸保育園 子育て支援 センター

対象 ● 乳幼児 0歳～6歳(就学前)の親子

一般開放 ● 月～木曜日 午前9時～午後4時  
金曜日 午後1時～午後4時  
(祝日、盆休み、年末・年始除く)

行事企画 ● 絵本読み聞かせ、音楽会、工作などの講習会や講座の開催、交流会など、親子で楽しめるものを毎月企画。

育児相談 ● 火・金曜日 午前10時～午後3時(電話予約可)

※なお、利用については、年齢別、企画行事による時間変更等もありますので「支援センター便り」または、直接センターにお問い合わせください。

▶ 蓮田市閩戸3126-1 ☎048-766-8998



園庭あり



# お父さんにインタビュー

会社員とPTA会長を両立し、地域で活躍する高澤さんに、お話をうかがいました。

## 高澤 由貴さん

関戸在住 会社員

結婚14年目の妻と中2長女、  
小4次女の4人家族



高澤さん一家

### Q1 | 蓮田に住むようになったきっかけは？

結婚をきっかけに、妻の実家のそばに住むようになりました。

### Q2 | 蓮田に住んでよかったことはなんですか？

多くの方と知り合い、つながりができたことです。

はじめは子どもの保育園でお母さんと顔なじみになったことからでした。いろいろな行事に使っていただきました。役員ではありませんが、長女の入園から次女の卒園後しばらくの間、行事のたびに駐車場係りになってきました。行事で自分の子どもの姿を見ることはあまりありませんでしたが、自分の子どもと同じくらい、人とのつながりを大切にしてきました。家族はあきれているかもしれませんが、

### Q3 | 家庭で大切にしていることはなんですか？

1番は子育てです。子ども達の言い分も聞き、充分話して理解させるようにしています。話もせず決めつけることが、一番嫌いです。

仕事で難しい時もありますが、食事は一緒にするようにしています。それから、家族が笑顔でいられるようにしています。

夫婦で役割分担はとくに決めていません。私も妻もフルタイムで働いているので、なんでもできるほうがやります。会社の都合をつけやすいのは妻よりも私なので、子どもの学校の登校指導やパトロールも積極的にやります。

会社に理解があるというよりは、自分の家庭の状況を話して理解してもらってきました。今年はPTA会長を引き受けたことも相談し仕事時間

の都合をつけながら、役員の皆さんの協力も得てPTA活動をしています。どんな場合も話せばわかってもらえると思っているので、会社側にも働きかける努力はしてきました。

### Q4 | 地域で大切にしていることはなんですか？

どなたにも挨拶はよくしています。地域の掃除活動や行事に参加し、ご近所の方に話しかけます。

遊んでいる子どもたちにも話しかけるし、危ないことなどを見れば注意もします。自分の子どもも地域の子どもも同じです。やはり人とのつながりを大切にしています。

そういえば、私の母も交通指導員をしていました。そういう性分は似たのかもしれませんが。

### Q5 | 蓮田はどんな街になって欲しいですか？

安心して暮らせる街になって欲しいです。街灯がもっと欲しいです。

子ども達も地域ボランティアの方々にパトロールなどでお世話になっていますが、いろいろな場面で多くの人たちのふれあいが盛んになってくれるといいと思います。





## 子育てネットワークハスダ

ママたちが自分の子育ての傍ら、地域の子育て環境を少しでも良くして、楽しく子育てできるようにとの思いから、自分の子育てを通して、こんなものがあったらいいと感じたイベントや情報を企画・発信しています。年4回発行の子育て情報誌「み～つけた！通信」や「子育てでつながろうMiNiフェスタ」の開催など、地域に密着した子育てで支援を企画・運営しています。



【お問い合わせ】048-769-0841(石井)

## 愛育会

妊婦さんや就学前までのお子さんを持つママが中心となって活動しているボランティア団体です。蓮田市内を7つの地区に分け、七夕会やクリスマス会などのイベントを行っています。



また、年2回「愛育だより」を発行し、ママやお子さんに役立つ情報を掲載しています。各愛育班ごとに自宅に近い公共施設でイベントを開催しており、気軽に参加できます。

【お問い合わせ】  
蓮田市母子愛育会事務局 蓮田市教育委員会  
子ども支援課 子どもの健康担当  
048-768-3111(内線151・156)



## 子育てひろば「ぽこ」

「ぽこ」は、子育て中の親子が気軽に集い、遊び、相談できる場所です。不定期で、読み聞かせや簡単な物づくりなども行っています。とても、アットホームな雰囲気でもママやお子さんが楽しんでいます。  
毎週月曜日～金曜日、午前10時から午後1時まで

【お問い合わせ】  
「人にやさしい家」(パルシー多目的広場横の建物)  
蓮田市大字関戸2343番地 048-769-7852

楽しい  
子育て  
応援します

## 親子ふるさと学校

「ふるさと・はすだ」を知る体験をしています。  
たけのこ掘り・芋掘り・竹工作・ツリークライミング(写真)など。  
募集：広報はすだ2月号に掲載、1年間の参加家族を募集。

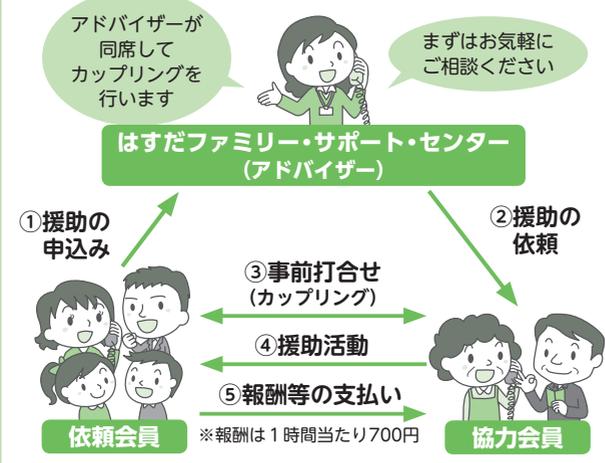


【お問い合わせ】  
NPO法人市民プロジェクトはすだ  
080-5379-9461(岩崎)

## はすだファミリー・サポート・センター

育児の援助を受けたい方と育児の手助けができる人、その両方できる人が会員登録し、有償で各家庭において育児の相互援助活動を行うものです。

### ファミリー・サポート・センターのシステム



【お問い合わせ】  
蓮田市勤労青少年ホーム内  
048-765-1411  
hasuda-fsc@city.hasuda.saitama.jp  
(水、日曜日休館)



## 編集後記

■お話を伺って、皆さんが子育て、仕事、ボランティアを楽しんでいる様子がとても印象的でした。私も見習いたい！(酒井)

■自然があって環境が良い、優しい人たちのたくさん住む蓮田に、多くの若い世代に住み続けてほしいと思います。蓮田は子どもを育て、自分らしい人生をいきいき過ごせる街だと思いました。(河北)

■我が子にとって、蓮田がふるさと。みんなが暮らしやすい、そして元気のある街に育てていきたいと思います。(新井)

■蓮田の小中学校はPTAとの連携がよく取れていて、大きなはじめもなく、子どもを通わせやすいところです。(小森)

■今回の編集を終えて、蓮田市にはいい人がたくさん住んでいるのだなあ、と改めて感じました。インタビューや編集にご協力いただきありがとうございます。多くの方に「はすだ」を読んでもらいたく思います。(菅野)